



食育通信8月号



毎月 19 日は「食育の日」です。食育の話題に触れることにより、より食育に親しみましょう。

今月のテーマは

『 久留米の農産物を食べよう！ 』です。

農業都市・久留米で地産地消を

地産地消とは、「地域で生産されたものをその地域で消費すること」です。地産地消に取り組むことは、「新鮮な農産物を安心して食べられる」「食と農への感謝・理解が深まる」「環境にやさしい（輸送減による CO2 削減や自然保護等）」「地域経済が元気になる！」などに繋がります。

令和 6 年市町村別農業産出額
(農林水産省推計値)

福岡県内第 **1** 位

農業産出額 366.5 億円

久留米市地産地消推進店へ行こう

久留米産農産物を積極的に販売・活用している小売店や飲食店などで、約 200 店舗が「久留米市地産地消推進店」の登録をしています。登録店は久留米市公式ホームページをご覧ください。

[「久留米市地産地消推進店」](#)

のぼり



ポスター



こののぼりやポスターが目印です

久留米産農産物の直売所として、道の駅くるめなどがあります。道の駅くるめには、毎朝地元で採れた、新鮮で安心安全な旬の農産物が沢山並びます。

久留米市東部地域では、ぶどうや柿、北部地域では葉ものの野菜、南西部地域では、米や麦、大豆、いちごなどが主に栽培されており、農産物の品揃えや出荷量は県内の直売所の中でもトップクラスを誇ります。

また、併設するレストラン「ほとめき庵」でも久留米産農産物を使用したメニューがあります。



地元で学校給食用ジャガイモ栽培

JA 福岡くるめ(くるめ地区)青年部は、平成 17 年から、学校給食に納入するジャガイモ「メークイン」を栽培しています。今年は管内小学校 26 校に約 4.8 トンを納入しました。6 月から約 1 カ月間学校給食で使われており、地産地消の取組みが進められています。



食育通信は、食育の日[※]に久留米市ホームページ、久留米市公式 LINE において発信します。食育関連イベント情報は、[久留米公式ホームページ『食育通信・食育イベント』](#)のページをご覧ください。

来月 9 月号の特集は「夏の濃い味をリセット！秋の食材で子どもの味覚を育てよう」

です。お楽しみに。



久留米市食育推進会議事務局（食育通信担当：久留米市農政部農業の魅力促進課内）

TEL：0942-30-9165 FAX：0942-30-9717 E-mail：noumi@city.kurume.lg.jp